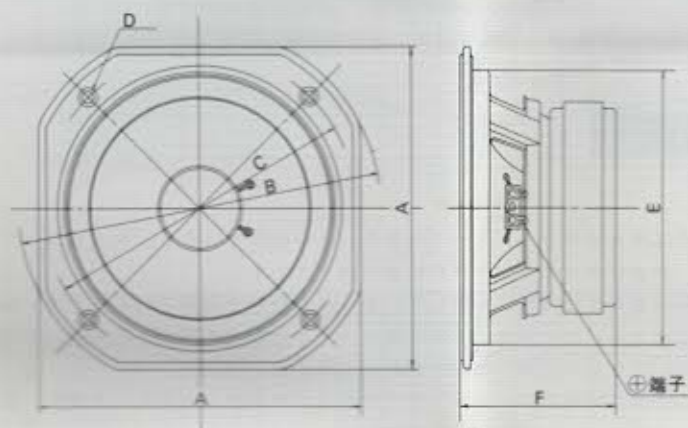




このたびはテクニクススピーカをお求めいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



## 付属品

- クッション材……1コ
- 木ネジ……4コ
- ワッシャー……4コ
- スプリングワッシャー……4コ
- リセプタクル……2コ
- Technics シール……1枚

単位：mm

φ：直径を示す

	A	B	C	D	E	F
10F100	121	φ138	φ119	φ4孔	φ104	60.3
16F100	162	φ180	φ160	φ4.5孔	φ141.4	77.3
20F100	204	φ226	φ202	φ5.5孔	φ182.6	96.1

## 定 格

	10F100	16F100	20F100
口 径	10cm	16cm	20cm
インピーダンス	8 Ω	8 Ω	8 Ω
最低共振周波数 (fo)	140Hz	90Hz	80Hz
再生周波数帯域	fo~16kHz	fo~14kHz	fo~12kHz
出力音圧レベル	94dB/W (1m)	95dB/W (1m)	97dB/W (1m)
入 力	70W (Max.)	80W (Max.)	100W (Max.)
磁 束 密 度	12,000Gauss	11,500Gauss	9,800Gauss
総 磁 束	78,000Maxwell	110,000Maxwell	170,000Maxwell
コーン有効半径 (a)	4.5cm	6.4cm	8.2cm
等 価 質 量 (mo)	2.8g	6.0g	11.4g
Qo	0.65	0.53	0.48
マグネット重量	283g	500g	903g
総 重 量	0.78kg	1.46kg	2.6kg

## 使用上のご注意

1. 振動部に手を触れたり、傷つけたりしないようご注意ください。特にドームラジエータは精密に成形されており、変形により著しく性能が劣化しますので触れないでください。
2. 過大な入力を加えないように十分ご注意ください。
3. テストのときは必ずバフル板またはキャビネットに取付けてください。  
バフル板またはキャビネットに取付けずにスピーカ単体で鳴らした場合には空気負荷が十分にかからないために、コーン紙が過大な振幅で振動し、振動部を破壊することがあります。
4. スピーカを直射日光の当たる所、または暖房器具の近くでお使いになるのは避けてください。

## ご使用方法

### 1. キャビネット

スピーカの音質の半分はキャビネットによって決まる、といわれています。キャビネットの性能は大きさ、材厚、およびキャビネット方式により決まります。

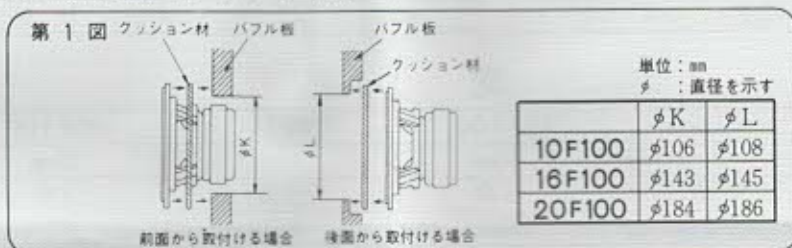
使用材の厚みは十分厚いものを使用し、共振しないように角材等で共振の起こりやすい場所を、十分に補強してください。キャビネットの材質はラワン合板や単板であれば良いのですが、軽量な材料は避け、できるだけ重い材料をお選びください。

なお、キャビネットの内部には厚手のフェルトやグラスウールのような吸音材を張り、定在波の発生を防止してください。

### 2. キャビネットへの取付け

第1図のように、このスピーカはキャビネットのバフル板に前面からも後面からも取付けることができます。

取付けの時には第1図のように、付属のクッション材を介して取付けてください。



### 3. コードの接続

H・Pシリーズフルレンジユニットのボイスコイルインピーダンスは $8\Omega$ になっていますので、アンプの4~8 $\Omega$ 用出力ターミナルに接続してください。

このスピーカのターミナルボードおよび銘板には $\oplus$  $\ominus$ の表示がしてあります。アンプの極性とスピーカの極性及びステレオ再生の場合には左右の極性をそろえてください。

#### 〔スピーカの極性の調べ方〕

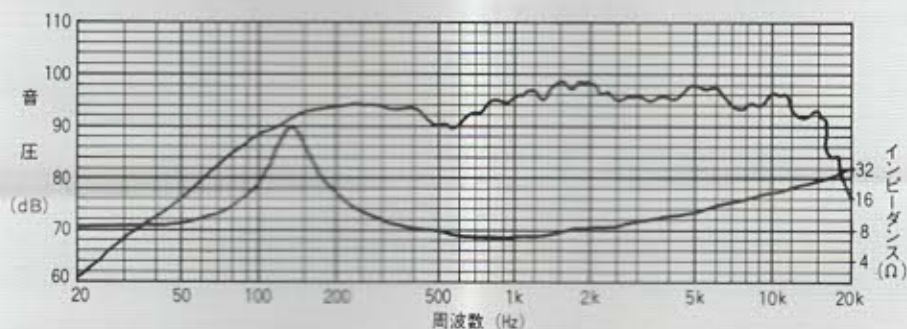
一般に、乾電池(1.5V)をスピーカの両端子に接続したとき、スピーカの振動板が前面に動けば、乾電池の $\oplus$ 極側がスピーカの $\oplus$ 端子になります。

#### 〔ご注意〕

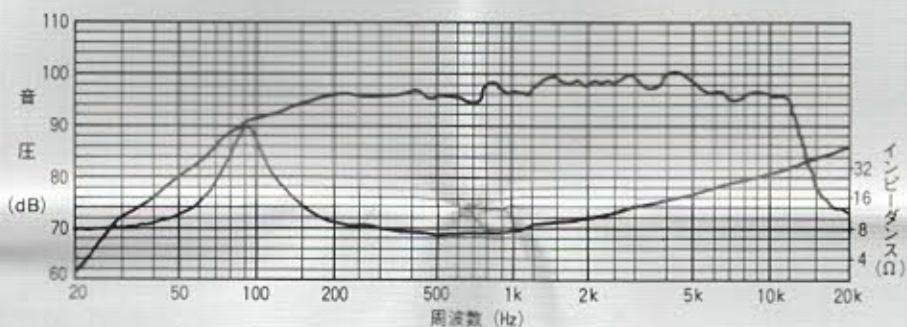
接続が終わりましたら、アンプの電源を入れる前にもう一度、誤りがないか、ご確認ください。

# 周波数特性

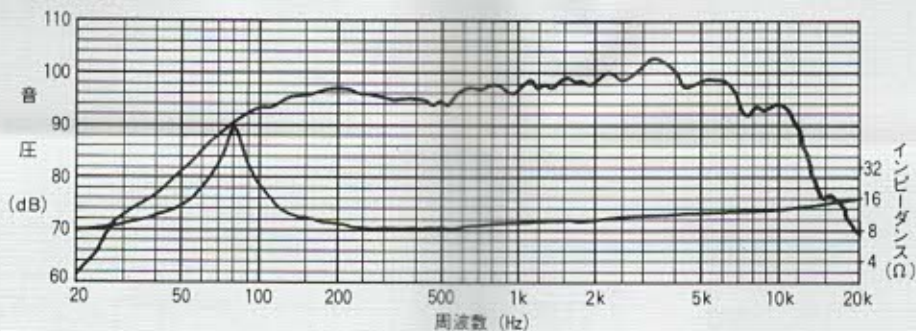
## 10F100



## 16F100



## 20F100



測定条件

マイクロホン: B&K 4133

入力: 1W

マイク〜スピーカ間距離: 1m

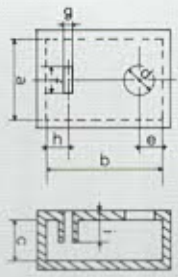
測定箱: JIS標準密閉箱

120×90×60 (cm)

OdB=0.0002 $\mu$ bar



4.参考製作例  
4-1 バスリフ型キャビネット

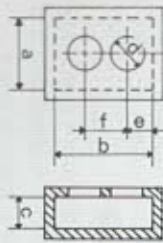


内容積	a	b	c	d	e	f	g	h	i
10F100	8.74	170	270	190	φ106	75	96	25	50
16F100	244	270	440	290	φ143	145	100	36	85
20F100	474	330	550	270	φ184	165	150	40	120

単位：mm  
φ：直径を示す

4-2 2本使用のキャビネット

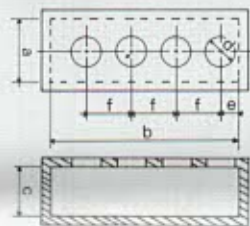
2本以上のスピーカーを同一のキャビネットに入れて使用する  
場合、スピーカーの配置は縦並びをおすすめします。  
また、スピーカー相互の間隔はできるだけ近づけてください。



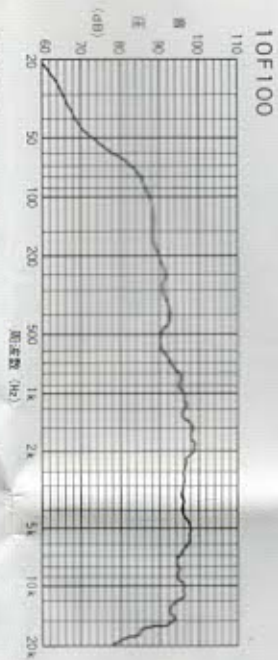
内容積	a	b	c	d	e	f
10F100	3.84	146	276	95	φ106	73
16F100	8.17	183	354	125	φ143	92
20F100	164	224	434	165	φ184	112

4-3 4本使用のキャビネット

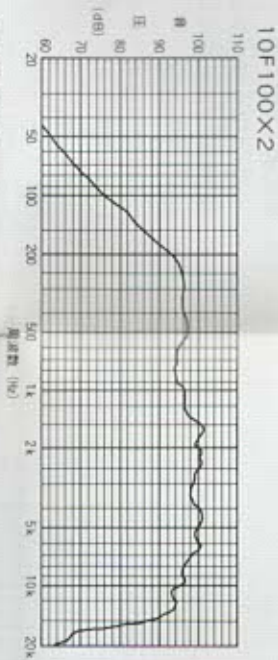
このシステムは、スピーカーを4本使用していますので、スピーカ  
相互の干渉により、高域が減衰してきますのでツイーターの追加を  
おすすめします。



内容積	a	b	c	d	e	f
10F100	7.44	146	536	95	φ106	73
16F100	164	182	694	125	φ143	92
20F100	31.54	224	854	165	φ184	112



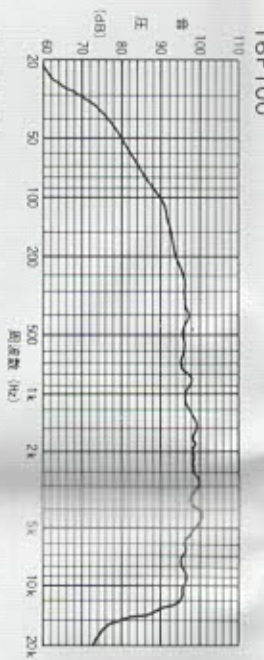
10F100



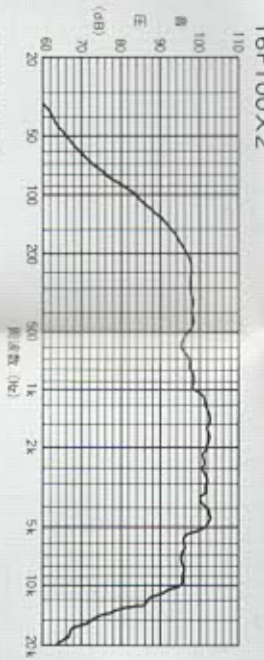
10F100X2



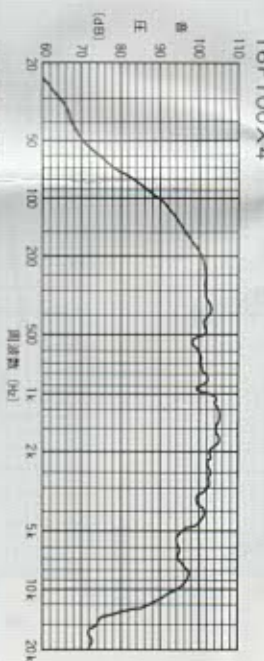
10F100X4



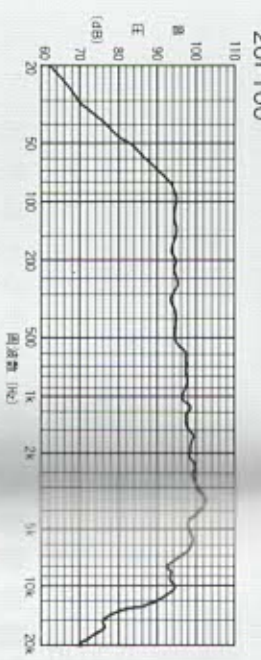
16F100



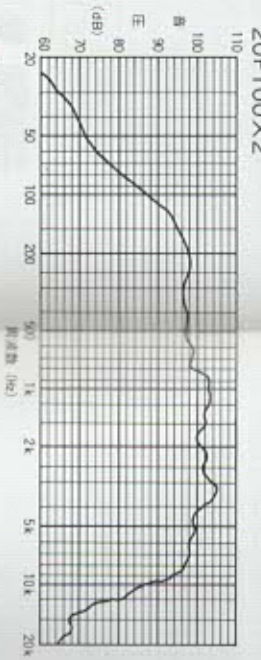
16F100X2



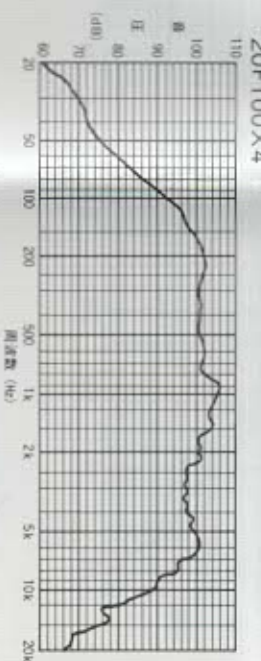
16F100X4



20F100



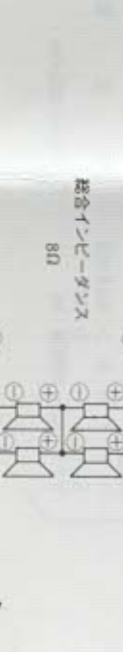
20F100X2



20F100X4

高音材料  
ツイーター ロホン: BAK4133  
入力: 1W  
ツイーターが設置: 1m  
OdB: 0.0002/bar

配線図



## 特 長

### 1. 中音域を充実した周波数特性

コーン紙、エッジは強じんさと適当な内部損失を合わせもった素材を厳選し、コンピュータのシミュレーションにより最適な形状とし、また低域を制動することにより中音域の充実した周波数特性を得ています。

### 2. 高耐入力

高耐熱処理を施したボイスコイル線材と高耐熱フィルムのボビンを使用することによって200℃の温度上昇に耐えられる高耐入力設計です。

### 3. 高能率

大型フェライトマグネットを使用するとともに、磁気回路を効率よく利用するためにボイスコイル線材にアルミリボン線を採用し、さらに振動系の軽量化を計ることによって高能率を実現しています。

### 4. 有孔ボールピース

ボールピースの中心に通気孔を設け、ドームラジエータ内の空気圧の上昇を防ぎ、大振幅時のひずみを減らしました。

### 5. 銅リングの採用

20F100にはボールピースに純銅のショートリングを採用し、電流ひずみの低減と高域のレベルの向上を計っています。



松下電器産業株式会社 ステレオ事業部

所在地 〒570 大阪府守口市松下町2

TEL 大阪 (06) 992-1551

本 社 〒571 大阪府門真市大字門真1006